

山口情報芸術センター [YCAM] ワークショップ

映画を2回観る会

vol.1 : 2012年10月20日(土)、21日(日) vol.2 : 2012年11月17日(土)、18日(日)

vol.3 : 2012年12月15日(土)、16日(日) 各回13:30-15:30 ※11月17日のみ18:00開始

対象 : 小学校4年生以上(3年生以下は応相談) 参加無料 ※要申込

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオC

言葉を紡いで鑑賞の楽しみを拡げる、大好評の映画鑑賞会
規模を拡大して、今年も開催！

山口情報芸術センター [YCAM] では、映画作品の魅力をより深く楽しむための鑑賞法を発見することを目的とした映画鑑賞会「映画を2回観る会」を3シリーズ、計6回に渡って開催いたします。

この鑑賞会は、ある1本の短編のアニメーションや実写映画を、ナビゲーターによる解説や参加者同士の感想共有を間に挟んで、2度鑑賞するというワークショップ形式のイベントです。この一連の過程を通じて、作品が持つ多面性や重層性があらわになり、作品に対する見方がより柔軟で幅広いものへと変化していくと同時に、映画を観て感じたことを言葉にして共有する力、つまりは批評的な視点を養うこともできます。

昨年度に引き続いての開催となる今年度は、開催日を拡充し、開催する3シリーズすべてで、上映する映画に合わせた専門家もゲストとして招聘します。上映する映画に興味があるという方や、「映画」というメディアについて考えてみたいという方はもちろん、より専門的な知識を得たいという方にもお楽しみいただける内容となっています。みなさまお誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。



昨年の「映画を2回観る会」の様子

■ 上映作品とゲスト

vol.1 「あなたは私の誇り」(監督:ドン・ハーツフェルト)

10月20日(土)、21日(日) 13:30-15:30

ゲスト:土居伸彰(アニメーション研究・評論)※20日のみ

vol.2 「水の話」(監督:ジャン=リュック・ゴダール、フランソワ・トリュフォー)

11月17日(土) 18:00-20:00、18日(日) 13:30-15:30

ゲスト:樋口泰人(映画批評/boid主宰)※17日のみ

vol.3 「ユキとニナ」(監督:諏訪敦彦、イボリット・ジラルド)

12月15日(土)、16日(日) 13:30-15:30

ゲスト:諏訪敦彦(映画監督/東京造形大学学長)※15日のみ

※ゲストが出演しない回は、YCAM教育普及スタッフがナビゲーターを務めます。

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM] 情報制作課 田中

TEL:083-901-2222 FAX:083-901-2216 メールアドレス:press@ycam.jp

〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 <http://www.ycam.jp>

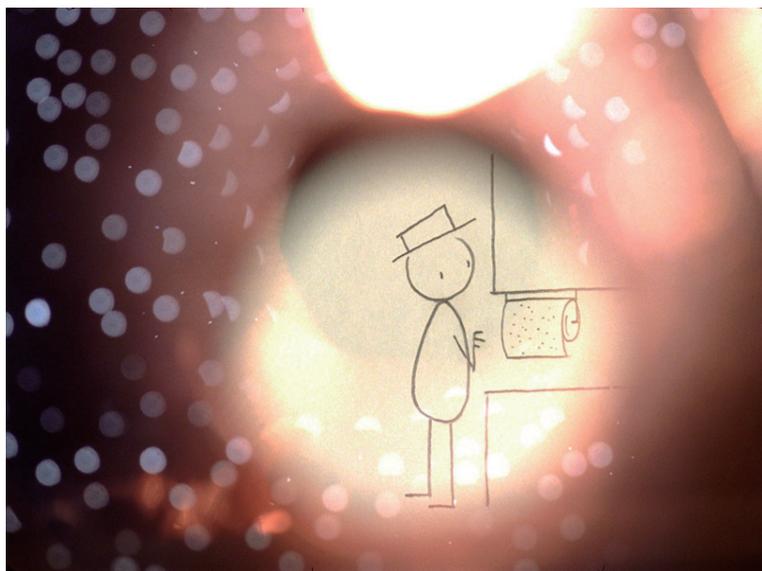
取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

現代アメリカを代表するアニメーション作家、ハーツフェルトの近作を紹介

vol.1 「あなたは私の誇り」(監督:ドン・ハーツフェルト)

日時:2012年10月20日(土)、21日(日)13:30-15:30

ゲスト:土居伸彰(アニメーション研究・評論)※20日のみ



「あなたは私の誇り」
©BitterFirm

アメリカを代表する短編アニメーション作家ドン・ハーツフェルト。彼の作品はカンヌ国際映画祭を始めとする世界的な映画祭で上映されたほか、YouTubeでも爆発的な再生回数を記録するなど、カルト的なファンを数多く生み出しています。

10月に開催する「映画を2回観る会 vol.1」では、ハーツフェルトの「きっとすべて大丈夫」三部作のひとつ「あなたは私の誇り」を紹介します。

この作品では、主人公の日常を中心に、彼の血筋が語られていきます。一見誰にでも真似できそうなシンプルな画の連なりが紡ぎ出す、詩的で哲学的なストーリー。そして、そこに挿し込まれる実写映像や特殊効果、効果音や音楽などの演出が、独特な世界感をつくり上げます。

作品の解説をおこなうゲストに、3月に公開された「ドン・ハーツフェルト作品集」の公式パンフレットの編集を手がけた、アニメーション研究・評論の土居伸彰さんをお招きし、作品に込められたハーツフェルトの意図について読み解いていきます。

■ ゲストプロフィール



土居伸彰
(どい・のぶあき)

1981年東京都生まれ。日本学術振興会特別研究員(PD)、東京造形大学非常勤講師。

作家らと共に立ち上げたインディーズレーベルCALFなどを通じて、映画祭を中心に上映される世界中の短編アニメーションについての研究・評論・上映を介した紹介活動を行っている。著書として、『柔らかな世界—ライアン・ラーキン、そしてアニメーションの原型質的な可能性について』(加藤幹郎編『アニメーションの映画学』(臨川書店・2009年)所収)、訳書としてクリス・ロビンソン『ライアン・ラーキン やせっぽちのパラード』(太田次郎社エディタス、2009年)、編著として『ドン・ハーツフェルト』(CALF、2012年)などがある。

■ 上映作品について

あなたは私の誇り I AM SO PROUD OF YOU

2008年/22分/アメリカ/デジタル上映
製作・監督・撮影・脚本・アニメーション・録音:
ドン・ハーツフェルト

編集:ブライアン・ハンプリン

音楽:リチャルト・シュトラウス、
リチャルト・ワーグナー、ロバート・ブレンナー

■ 関連上映

メランコリックな宇宙
ドン・ハーツフェルト作品集

1998年—2010年/74分/アメリカ/デジタル上映

10月26日(金) 13:30- / 19:00-

10月27日(土) 13:30- / 16:00-

10月28日(日) 13:30- / 16:00-

入場料:一般1300円

any会員、25歳以下、特別割引800円

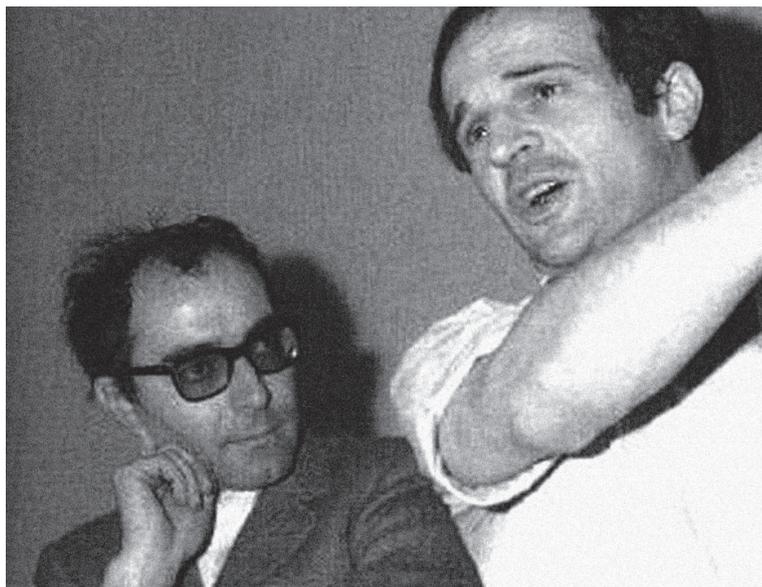
若き日のゴダールとトリュフォーが共同で監督した貴重な短編映画作品を紹介

vol.2 「水の話」(監督:ジャン=リュック・ゴダール、フランソワ・トリュフォー)

日時:2012年11月17日(土) 18:00-20:00

18日(日) 13:30-15:30

ゲスト:樋口泰人(映画評論/boid主催)※17日のみ



「ふたりのヌーヴェル・ヴァーグ」より、ジャン=リュック・ゴダール(左)とフランソワ・トリュフォー(右)
©Films a Trois 2009

1950年代末のフランス。若いシネフィルたちが、伝統的な映画に反発して、実験的な撮影手法や独自の演出、台詞まわしなど、新しいアプローチで自由に映画を撮り始めました。それが映画史に残る「ヌーヴェル・ヴァーグ」と呼ばれる映画運動です。

11月に開催する「映画を2回観る会 vol.2」では、そのヌーヴェル・ヴァーグを代表する映画監督、ジャン=リュック・ゴダールとフランソワ・トリュフォーが共同監督した唯一の短編映画「水の話」を紹介します。

洪水に見舞われた街から、どうにかしてパリへ行こうとする若い女性の奮闘が描かれたこの作品からは、ヌーヴェル・ヴァーグの空気を感じ取ることができます。

作品の解説をおこなうゲストに、ドキュメンタリー映画「ふたりのヌーヴェル・ヴァーグ」の公開にあたり、〈ヌーヴェル・ヴァーグの入門書〉とも言える公式パンフレットの編集を手がけた樋口泰人さんをお招きし、この作品が作られた時代背景の解説も交えながら、作品を読み解いていきます。

■ ゲストプロフィール



樋口泰人
(ひぐち・やすひと)

1957年生まれ。「カイエ・デュ・シネマ・ジャポン」編集委員を経て、98年に個人レーベルboid(ボイド)を設立。執筆活動と並行して、ドキュメンタリー・ビデオ、書籍、音楽CDの企画・製作、映画の配給・宣伝を手掛ける。2004年から吉祥寺バウスシアターでライブ音響システムを使用した「爆音上映」のイベントを開始、さらに08年からは毎年「爆音映画祭」(www.bakuon-bb.net)も開催している。著作に『映画とロックンロールにおいてアメリカと合衆国はいかに闘ったか』(青土社刊)がある。

■ 上映作品について

水の話 *UNE HISTOIRE D'EAU*

1958年/12分/フランス/デジタル上映

監督:ジャン=リュック・ゴダール、
フランソワ・トリュフォー

出演:カロリーヌ・ディム、
ジャン=クロード・ブリアリ

※「アラン・レネ/ジャン=リュック・ゴダール
短編傑作選」より

■ 関連上映

ふたりのヌーヴェル・ヴァーグ

ゴダールとトリュフォーを中心にヌーヴェル・ヴァーグについて一望したドキュメンタリー。

2011年/97分/フランス/デジタル上映
監督:エマニュエル・ローラン

11月17日(土) 16:00-

11月18日(日) 11:30-/17:00-

入場料:一般500円

即興的な演出で知られる諏訪敦彦監督作品を紹介

vol.3 「ユキとニナ」(監督: 諏訪敦彦、イポリット・ジラルド)

日時: 2012年12月15日(土)、16日(日) 13:30-15:30

ゲスト: 諏訪敦彦(映画監督/東京造形大学学長) ※15日のみ



「ユキとニナ」

©コム・デ・シネマ、レ・フィルム・デュ・ランドマン、アルテ・フランス・シネマ、ピタース・エンド

即興的な演出で世界的に知られる映画監督、諏訪敦彦。『M/OTHER』(1999年)でカンヌ国際映画祭国際批評家連盟賞を受賞、『不完全なふたり』(2005年)でロカルノ国際映画祭審査員特別賞を受賞するなど、国際的に高い評価を受けている日本人映画監督のひとりです。

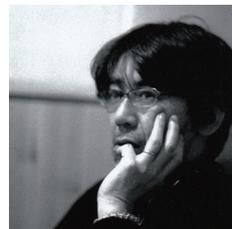
12月の「映画を2回観る会 vol.3」では、諏訪敦彦とフランスの俳優、イポリット・ジラルドの共同監督作品「ユキとニナ」を紹介し

主人公のユキとその親友のニナが、離婚してしまいそうなユキの両親をなんとか仲直りさせようとする様が描かれるこの作品では、2人の少女の目線で物語を描くことにこだわり、台本の台詞部分を空白にし、その場の役者の発想に委ねるといふ、諏訪監督ならではの手法で撮影がおこなわれました。

作品の解説をおこなうゲストに、諏訪監督本人をお招きし、制作のプロセスを振り返ってもらいながら、監督と役者、あるいは脚本家と役者の関係、そして即興的な演出方法について考えていきます。

※イベントでは、「ユキとニナ」の中から、監督自らがセレクトしたワンシーンを題材として上映します。

■ ゲストプロフィール



諏訪敦彦

(すわ・のぶひろ)

1960年広島県生まれ。東京造形大学在学中にインディペンデント映画の制作にかかわる。大学卒業後、長崎俊一、山本政志、石井聰互などの作品に参加する一方で、84年『はなされるGANG』等を発表。テレビドキュメンタリーの演出を手掛けた後、97年に定型のシナリオなしで撮影された『2/デュオ』で監督デビューし、ロッテルダム国際映画祭でNETPAC賞を受賞する。99年『M/OTHER』(カンヌ国際映画祭国際批評家連盟賞受賞)、01年『H/Story』(カンヌ国際映画祭正式招待)、05年『不完全なふたり』(ロカルノ国際映画祭審査員特別賞、国際芸術映画評論連盟賞受賞)、09年『ユキとニナ』(カンヌ国際映画祭監督週間出品)と国際的に評価の高い作品を発表し続けている。

■ 上映作品について

ユキとニナ Yuki & Nina

2009年/93分/フランス・日本

監督・脚本: 諏訪敦彦、イポリット・ジラルド

撮影: ジョゼ・デー

出演: ノエ・サンピ、アリエル・ムーテル

■ 関連上映

ユキとニナ

12月15日(土) 11:00- / 17:00-

12月16日(日) 11:00- / 17:00-

入場料: 一般1,000円

any会員、25歳以下、特別割引500円

分かる／分からないだけではない、作品の味わいを豊かにするためのコトバ

「スクリーンに、何が見えましたか？」

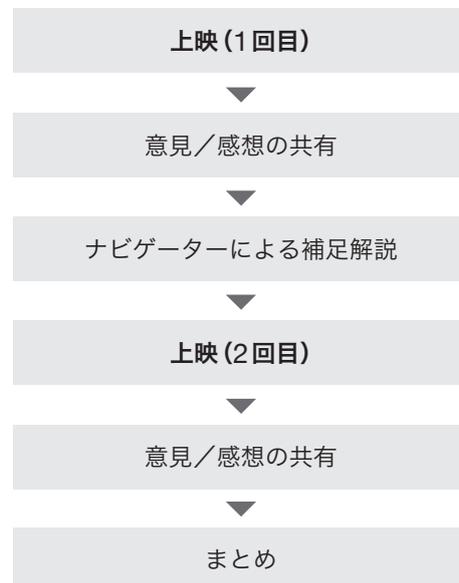
「どう感じましたか？」

「映画を2回観る会」では、このようなナビゲーターからの投げかけに対して、たった1つの作品から出てきたとは思えないほどの多様な感想が参加者から寄せられます。そして、それらを交換し合うことで、言葉による作品の読み解きをより豊かで深いものにしていきます。

映画を形容するときによく使われるフレーズに「言葉ではなかなか言い表せない面白さ」というものがありますが、そうした面白さというのは、分かる／分からないというレベルを超えて、言葉で説明することの困難さに向かい合い、極限まで言葉を尽くした、その先にあるものです。

このイベントを通じて、そうした面白さの入口に数多くの人々と一緒に立ってみたいと考えています。

■ イベントの流れ



開催概要

映画を2回観る会

vol.1 「あなたは私の誇り」(監督:ドン・ハーツフェルト)

2012年10月20日(土)、21日(日) 13:30-15:30

ゲスト:土居伸彰(アニメーション研究・評論)※20日のみ

vol.2 「水の話」(監督:ジャン=リュック・ゴダール、フランソワ・トリュフォー)

2012年11月17日(土) 18:00-20:00、18日(日) 13:30-15:30

ゲスト:樋口泰人(映画批評/boid主宰)※17日のみ

vol.3 「ユキとニナ」(監督:諏訪敦彦、イポリット・ジラルド)

2012年12月15日(土)、16日(日) 13:30-15:30

ゲスト:諏訪敦彦(映画監督/東京造形大学学長)※15日のみ

※ゲストが出演しない回は、YCAM教育普及スタッフがナビゲーターを務めます。

会場:山口情報芸術センター [YCAM] スタジオC

入場無料 ※要申込(受付開始:9月1日/席に空きがあれば当日参加可)

対象:小学校4年生以上(3年生以下は応相談)

主催:公益財団法人山口市文化振興財団

後援:山口市、山口市教育委員会

平成24年度文化庁地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ

企画制作:山口情報芸術センター [YCAM]

申込方法

- ・イベント名と参加希望日
- ・住所、氏名(ふりがな)、性別、生年月日
- ・電話番号、メールアドレスなど連絡先

を明記の上、FAXまたはメールにて、各開催日前日までに申し込みください。

FAX:

083-901-2216

メールアドレス:

workshop@ycam.jp

託児サービス

対象:0才(6ヶ月)以上

託児時間:イベント開始の30分前から終了30分後まで

料金:お子様1人につき500円、2人目以降は1人につき300円

申込方法:各回1週間前までに下記までお申し込みください。

山口市文化振興財団チケットインフォメーション(YCAM内)

083-920-6111(10:00-19:00) ※火曜休館・祝日の場合は翌日